

日本歴史人物テスト 5

年表の①～⑬に当てはまる人物の名前を書きましょう。

時代	せいぼつねん 生没年	人物名	できごと	動き
めいじ 明治時代 1868年 ┆ 1912年	1852～1912年	① めいじてんのう 明治天皇	1868年 たいせいほうかん おうせいふっこ 大政奉還・王政復古で政治の中心となる	たいせいほうかん みぶんせいど はいし 大政奉還をむかえ、新政府の中心として身分制度の廃止、 けんぽうせいいてい 憲法制定など日本の近代化を進める。
	1841～1909年	② いとうひろぶみ 伊藤博文	1889年 ていこくけんぽう はっぷ 大日本帝国憲法の発布	ないかくせいど めいじせいふ しょだいないかくそうりだいじん 内閣制度を作り明治政府で初代内閣総理大臣になる。
	1837～1919年	③ いたがきたいすけ 板垣退助	1874年 じゆうみんけんうんどう 自由民権運動が始まる	こうかいかいせつ 政府に、広く国民の意見を聞くよう働きかけ国会開設を約束させる。
	1838～1922年	④ おおくましげのぶ 大隈重信	1898年 ないかくそうりだいじん 内閣総理大臣になる	めいじせいふ ざいせい 明治政府ができた当時の財政担当。後に政党を結成し そうり わせだ そうせつ 総理大臣になる。1882年 早稲田大学を創設する。
	1847～1934年	⑤ とうごうへいはちろう 東郷平八郎	1894年 にっしんせんそう 日清戦争	ちようせんはんとう しんちゆうこく かいぐんかんちよう 朝鮮半島をめぐる清（中国）と戦いが起こり、海軍艦長 として日本を勝利に導く。
	1844～1897年	⑥ むつむねみつ 陸奥宗光	1894年 にちえいつしやうこうかいじやうやく 日英通商航海条約	ふびやうどうじやうやく アメリカなどと結んでいた不平等条約の改正に力をつくした。
	1855～1911年	⑦ こむらじゆたろう 小村寿太郎	1905年 じやうやく ロシアとポーツマス条約を結ぶ	むつむねみつ にちるせんそう こうわじやうやく 陸奥宗光の部下で日露戦争の講和条約作りなどを担当した。
	1825～1883年	⑧ いわくらともみ 岩倉具視	1871年 ふびやうどうじやうやく おうべいしさつ 外国との不平等条約改正のため欧米視察	ぎじゆつ とみおかせいしじやう しょくさんこうぎやう 外国の技術を取り入れる富岡製糸場などの殖産興業を進める。
	1840～1931年	⑨ しばさわえいいち 渋沢栄一	1873年 かぶしきがいしゃ 日本初の株式会社をつくる	めいじせいふ やくにんたいかんど せいし ぼうせき ぼけん 明治政府の役人退官後、銀行のほか、製紙、紡績、保険、 鉄道など色々な会社を立ち上げる。
	1841～1913年	⑩ たなかしょうぞう 田中正造	1901年 あしおどうざん とちぎけん てんのうじきそ 足尾銅山（栃木県）の公害問題を天皇に直訴した	あしおどうざん そうぎやうていし 足尾銅山の公害問題で操業停止や被害者を助けるため、国会に何度も うった 訴えたが政府が十分な対策を取らず国会議員を辞め天皇に直訴する。
めいじ 明治時代 1868 ～1912年 ┆ たいしやう 大正時代 1912 ～1926年	1852～1931年	⑪ きたざとしばさぶろう 北里柴三郎	1889年 はしやうふうきん 破傷風菌を研究用に生育することに成功する	りゆうがく はしやうふう ちりやうほう ドイツに留学して破傷風の治療法を発見し、帰国後 でんせんびやう 伝染病研究所を作る。
	1870～1957年	⑫ しがきよし 志賀潔	1897年 せきりきん 赤痢菌を発見する	きたざとしばさぶろう せきりきん ちりやうやく 北里柴三郎の教え子で、赤痢菌を発見し、治療薬も開発した。
	1876～1928年	⑬ のぐちひでよ 野口英世	1927年 おうねつびやう 黄熱病の研究でアフリカへ行く	きたざとしばさぶろう いるやう さいせんたん 北里柴三郎の教え子で、医療の最先端を研究していた おうねつびやう アメリカのロックフェラー医学研究所で黄熱病の研究をする。